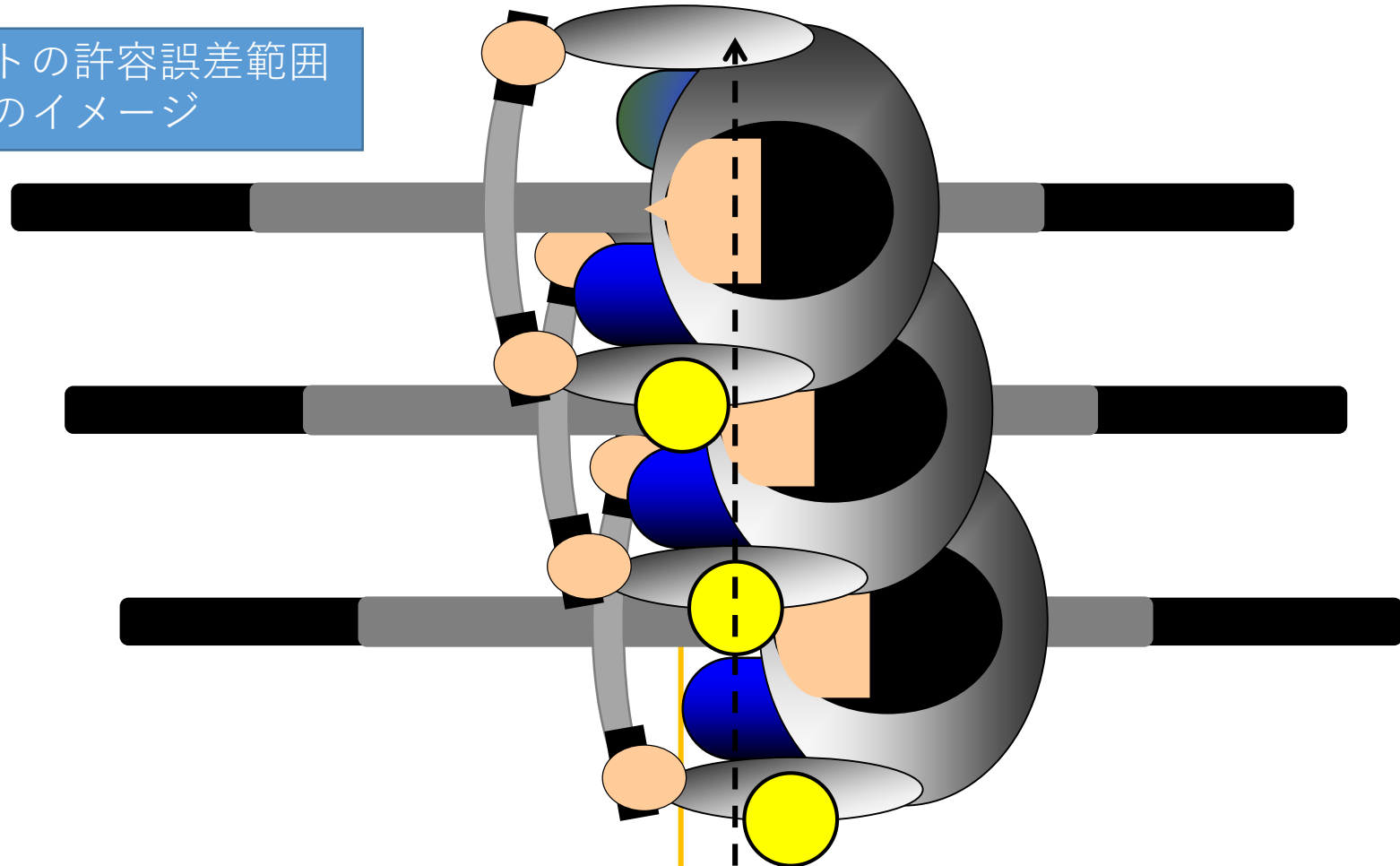


AEBS [対自転車] 試験方法の制定及びその他試験の試験方法の改正

- 衝突被害軽減制動制御装置 [対自転車] 性能試験方法
 - 第1回検討会でご承認いただいた試験方法案について、プレテスト結果を踏まえ一部修正したい。
 - (主な修正点)
 - 試験用ターゲット速度が早いため、
 - ①試験用ターゲット速度の許容誤差を±0.5km/hに、
 - ②予想衝突ポイントの許容誤差を±10%に変更。
 - 試験車両から見て右方向から横断するシナリオにおいて、試験用ターゲットが加速する区間を目隠しする遮蔽壁の脚がターゲット走路と干渉するため、遮蔽壁の位置を変更。
 - 試験用ターゲットの姿勢の明確化。
 - その他、表現の適正化、明確化等を行う。
- 後方視界情報提供装置性能試験方法
 - 基準化に伴い、基準適合車種は試験実施を省略することを規定する。
 - その他、表現の適正化、明確化、誤記訂正等を行う。
- 衝突被害軽減制動制御装置 [対車両] 性能試験方法
- 衝突被害軽減制動制御装置 [対歩行者・昼間] 性能試験方法
- 衝突被害軽減制動制御装置 [対歩行者・夜間] 性能試験方法
- ペダル踏み間違い時加速抑制装置性能試験方法
- 車線逸脱抑制装置等性能試験方法
- 高機能前照灯装備確認方法
 - 表現の適正化、明確化、誤記訂正等を行う。

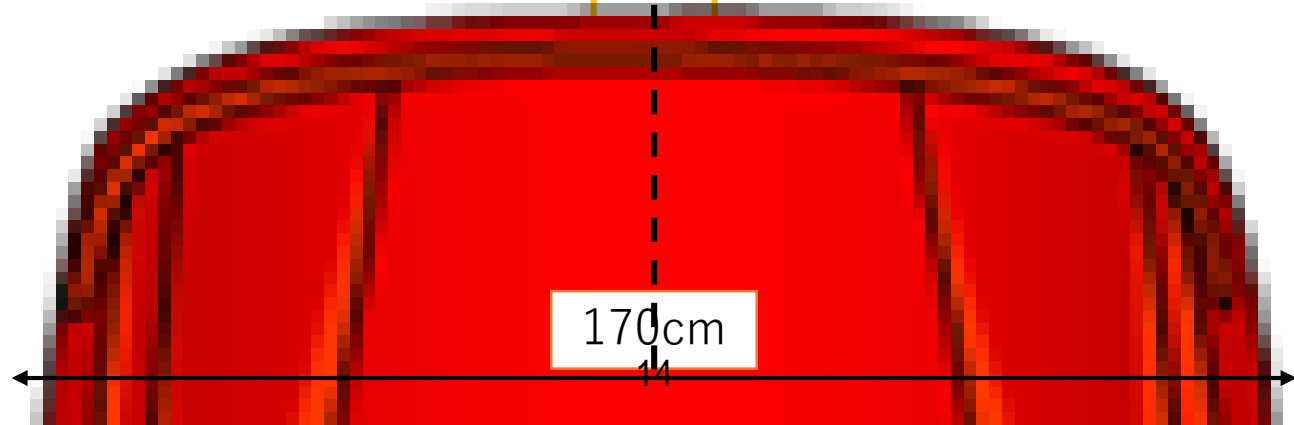
予想衝突ポイントの許容誤差範囲
±10%のイメージ



+10%

±0%

-10%



170cm
14

試験用ターゲットが加速する区間を目隠しする遮蔽壁の位置変更

